

# きたひろサービスネット通信

発行者 北広島市介護サービス連絡協議会 会長 三木千晶  
 事務局 〒061-1274 北広島市輪厚 704-16 エスポワール北広島内、島谷清張  
 電話：011-376-3911 / FAX：011-377-5621  
 Mail：kitahiroshakyo@rose.ocn.ne.jp（広報部会 風間）  
 : social@shojinkai.or.jp（広報部会 佐藤）

H26. 5. 31 現在 全市の人口 59,774 人、65 歳以上 15,745 人—高齢化率 26.3%

65 歳以上～75 歳未満 8,927 人—14.9%、75 歳以上 6,818 人—11.4%

新年度があわただしく始まりすでに2ヶ月が経過しました。

4月11日には北広島市介護サービス連絡協議会の総会を北広島市芸術文化ホールにおいて開催いたしました。多数の会員の皆様のご出席をいただき誠にありがとうございました。今年度は役員改選年度にあたり、新たに就任した理事も合わせ今後とも会員の皆様のお力添えをいただき、運営してまいりたいと考えております。

さて、私たちの会員数は現在80を超え大きな組織となりましたが、小規模な加入事業所も多くなっており研修の機会が十分に得られない場合もまだあると聞いております。これからも質が高く、現場で働く皆様がより元気になれるような研修をお届けできますよう励んでいく所存であります。また来年度の介護報酬改定に向けて情報を収集し少しでも早く共有できるような手立てを取っていきたいと考えております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

北広島市介護サービス連絡協議会 会長 三木 千晶

## ☆☆ 総会報告について ☆☆

4月11日に、芸術文化ホールで総会を開催しました。夜間にもかかわらず、多数の会員の皆様のご出席をいただきありがとうございました。総会は、笹浪議長（サンヴィレッジ北広島）のもと、次のことについてご審議、ご承認をいただきました。

- (1) H25-事業報告及び収支決算について (3) 役員改選（役員名簿は下記参照）  
 (2) H26-事業計画及び収支予算について

### <北広島市介護サービス連絡協議会役員一覧>

役職	氏 名 / 所 属	部会名
顧問	三瓶 徹 氏 / 北広島リハビリセンター特養部四恩園施設長	—
会長	三木 千晶 氏 / 北広島市高齢者ケアセンター聖芳園園長	介護保険施設
副会長	田邊 優子 氏 / NPO法人たすけあいワーカーズどんぐり	通所

役職	氏 名 / 所 属	部会名
副会長	風間 公彦 氏／北広島市社会福祉協議会	広報
事務局長	島谷 清張 氏／介護老人保健施設エスポワール北広島	—
理 事	北村 晃久 氏／ケアプランセンターすずらん	居宅介護支援事業所
理 事	福元 健史 氏／順天病院	居宅介護支援事業所
理 事	中谷 航 氏／ふれあいの里 華れん	介護保険施設
理 事	細川 則子 氏／訪問看護ステーションかえで	訪問
理 事	雑賀 照美 氏／ヘルパーステーション松ぼっくり	訪問
理 事	福島 直也 氏／聖芳園デイサービスセンター	通所
理 事	富田 節子 氏／グループホーム里の家	グループホーム
理 事	菊地 孝行 氏／グループホーム紅葉館	グループホーム
理 事	粥川ひとみ 氏／北広島市きた高齢者支援センター	地域
理 事	佐藤信一郎 氏／北広島市にし高齢者支援センター	地域
理 事	佐藤 幹博 氏／介護老人保健施設エスポワール北広島	広報
監 事	河井 芳樹 氏／かわい歯科医院	—
監 事	田中 祐子 氏／北広島市みなみ高齢者支援センター	—

### <総会前に講演会を実施しました>

総会前に、全国老人福祉施設協議会在宅サービス委員会委員長で北海道デイサービスセンター協議会会長である瀬戸雅嗣氏から「2015年介護報酬改定を見据えて～どうなるデイサービス～」と題した講演会を実施しました。

#### 『サービスネット公開講座に参加して』

デイサービスセンターなのはな 森田康夫

去る4月11日に北広島介護サービス連絡協議会の総会に先だちまして行われました「さあ、どうなる？デイサービス！」に参加させて頂きました。

来年の介護報酬を見据えてということで事業所にとってもたいへん興味深いものでした。いま介護保険部会介護給付費分科会で討議されている内容から、何度も先生が口にされた「地域ケア会議に呼ばれない様な事業所はダメです。」というフレーズが印象的でした。我々の日々の努力が、報われる様な報酬改定になることを節に願います。

## ★☆☆ 地域部会のお知らせ ★☆☆

今回の担当は、きた高齢者支援センターです。

各事業所の皆様には日頃より大変お世話になっています。予防プランの作成を始め、困難ケースや虐待ケースへの対応など、事業所の皆様のご理解・ご協力を頂くことで安心してお仕事をさせて頂けることに日々感謝をしております。

その中でも「地域たすけあい会議（地域ケア会議）」には各事業所の皆さんにもご参加を頂いております。この「地域ケア会議」は、今後の介護保険制度改正を含め「地域包括ケアシステム」を推進していく中で、大きな柱として位置づけられています。北広島市では各高齢者支援センターがそれぞれの地区で開催をしています。

北広島市では「地域ケア会議」をより馴染みのある言葉にしたいと「地域たすけあい会議」の名称としており、他市町村よりも多くの地域住民の方、医療機関・事業所の方に参加していただいています。内容も「地域の課題を皆で考えよう！できることは取り組もう！」と先駆的な取り組みとなっています。他市町村の包括と話しをする時に、この取り組みは自慢のひとつです(\*^\_^\*)

今後も皆様のお力をお借りしながらこの「地域たすけあい会議」を進めて行きたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

### 地域たすけあい会議

～いつまでも安心して暮らせる街づくりを目指して～

高齢者支援センターでは、地域の住民の方や介護保険サービス事業所の方等にご協力いただき「地域たすけあい会議」を開催しています。

「地域たすけあい会議」は、ご高齢の方や障がいをお持ちの方々の生活を支え合うことができる地域を目指し、住民の方・民生委員・社会福祉委員・介護保険サービス事業所・医療機関・障害福祉関係事業所・市社会福祉協議会・行政等が一体なり、地域の現状や困りごとの情報交換や顔の見える関係づくりを行っています。

きた高齢者支援センターが担当している地区には、「西の里地域たすけあい会議」「東部地域たすけあい会議」があります。今回は、平成25年度の

### 西の里地域たすけあい会議公開会議

～防災を **てこ** にした地域づくり～

平成26年3月1日（土）に西の里会館で西の里地域たすけあい会議の公開会議を開催しました。今年度、西の里地域たすけあい会議の地域の現状や困りごとの話し合いで話題に出ていた「防災」＋「地域のつながり」について、北星学園大学社会福祉学部社

会福祉計画学科長の岡田直人先生をお招きして勉強会を行いました。

岡田先生からは『“防災を求心力とした地域社会の現実的なネットワーク化の提案”』として、災害時に備えて住民と介護・医療の専門職が日頃からつながっておくことで「災害」という共通の課題に対して各々の役割の協力により要援護者を支えることができる。



また、日頃から住民（共助）と介護・医療の専門職（公助）がつながっていることで「災害」以外の様々な地域の問題に対しても、一緒に対応していけるネットワーク体制を作ることが可能になる。

災害に限らず、地域福祉活動では何か新しいネットワークや組織を作ることよりも既存のものがつながってお互いが「楽」で「快」と思えるつながりが効果も出やすく、結果として『地域づくりにもつながっていく。』などのお話がありました。地域活動のポイントについてお話しをいただき、今後の西の里地区の地域活動や西の里地域たすけあい会議のヒントをいただくことが出来ました。

事務局からは、平成25年度西の里地域たすけあい会議で行った構成員同士の話し合い（地域の困りごとや取り組み）や活動（西の里小学校車いす学習支援等）について報告をしました。

専門職と地域住民での集団お見合いを設定して、お互いを知り懇親を深めることで、日頃からお互いが協力できる関係性が生まれる。

まずはできることから取り組むと達成感が出て、次につながる自信とやる気生まれる。

地域活動のポイント！  
～岡田先生のお話から～

男性は自分から声を出して参加する方は少ないので、積極的に声をかけて役割をお願いしていく。(o)

地域活動では参加者に義務的に関わってもらうより、関心のあることに楽しみながら活動してもらう方が効果は大きい。

小・中学生が地域活動に関わることで大きな力となる。また、子どもの親も地域活動に関心を持つきっかけになる。

主催者側が全て準備・企画・運営をやるのではなく、参加者にもできることをワイワイ楽しみながら、主体的に参加してもらう。

自分の地域に「あれがない、これがない」と言っても先には進めないため、地域にある既存の組織や団体で何ができるかをイメージする発想力が大切。

※本事業は『北星学園大学社会福祉学部地域社会貢献事業』の講師派遣を受けて行いました。

## ～専門職の集まり～

平成25年度からは新たな試みとして「地域たすけあい会議」から派生する形で「専門職の集まり（会議）」を始めました。たすけあい会議構成員のうち、医療機関・福祉サービス事業所の職員で集まり、①地域の専門職同士のつながりを考える ②地域と専門職のつながりを考える ③事業所や専門職が連携した地域への働きかけ・社会貢献を考える ④利用者さんへの支援を円滑にできる関係づくりを目的として話し合いなどを行っています。話し合いの中では、それぞれが専門職として地域への関わりを積極的に行いたいという中で「専門職が地域への働きかけを行う際には事業所や職場の仲間の理解や協力が必要」「そもそも事業所自体が『社会貢献』に対する意識があるか、無いかも大きなところ」などの意見が出されていました。

その中でも、様々な地域に向けた活動を連携しながら行いました。毎年恒例の「西の里小学校・車いす体験学習」の講師として、昨年度はより広く地域の専門職の方に参加をいただき実施することができました。（「車いす体験学習」は市内の各小中学校の総合的な学習の一環として、北広島市社会福祉協議会が中心となって行っています。）



きた高齢者支援センター 粥川ひとみ

---

### ☆☆ 社会福祉協議会からのお知らせ ☆☆

---

#### (1) 友愛セールについて

6月14日（土）の9時30分～11時30分に、エルフィンパーク交流広場において実施しますので、是非お立ち寄り下さい。売上金は、地域福祉活動資金として活用されます。

また、前日13日（金）の10時～正午までの間、市内19カ所で、衣類（清潔なもの）、贈答品、書籍、雑貨などの受付を行いますので、家庭で眠っていて使用しない品物がありましたらご提供ください。

## (2) 傾聴ボランティア研修のご案内

7月3日(木)・4日(金)の10時～16時に、福祉センターにおいて実施しますので、興味のある方はご参加ください。(2日間必ず受講できる方/受講料無料)

相手のコミュニケーションのとり方を学び、聴き上手な介護職員になりませんか?

※詳細は、6月1日に発行の社協広報誌又は市役所広報誌をご覧ください。

【社会福祉協議会 TEL：372-1698】

---

## ★ 公開講座の報告 ★

---

(1) 5月13日の初任者研修「ビジネスマナー・セミナー～人と人をつなぐコミュニケーション～」に参加された方から感想をいただきました。

『ビジネスマナーセミナーに参加して』

介護老人保健施設 エスポワール北広島 木戸ふうか

介護というのは、お客様が一時的に来る接客業とは違って、利用者様の生活の状態や性格までを知らなくてはいけないと思います、利用者様を知るためには関わりを多くもつ事であり関わりを持つためには、上手くコミュニケーションとる事が重要だと思います。

利用者様に安心して快適に過ごして頂くためには職員と利用者様の信頼関係が一番大切だと思っています。

私が考えていた上手くコミュニケーションをとる方法は「うまく話す」ことだと思っていましたが、研修に参加して本当に大切なのは「うまく聴く」ことだと解りました。

「うまく聴く」こととは利用者様の話を最初から否定するのではなく、一度全てを聞き入れること、そして目線を合わせて相槌をうちながら話に反応することだと感じました。時には相談される場合もあります。そういった時は、ただ相手の話を聞いてあげるだけでも相手の方は気持ちが楽になるのだと教わりました。

自分の意見をはっきり述べることも大切ですが、まずは何事も最後まで聞こうと思います。

私も高校を卒業して勤めており、少しずつではありますが名前と呼んで頂いたり、話をして笑顔になって頂けるようになりました。まだまだ、力足らずなことも日々の関わりを通じて感じているのですが、利用者様のことを知る努力を行ない、一日も早く先輩達のようなケアワーカーに近づきたいと思っています。その為にも今回の研修で学んだ聴く力を身につけて日々精進して行こうと思います。

